

パネルディスカッション

これからのエコチル調査 ～未来の健康と環境のために～



◀ エコチル調査コアセンターオリジナルキャラクター
エコロン&チルルン

エコチル調査

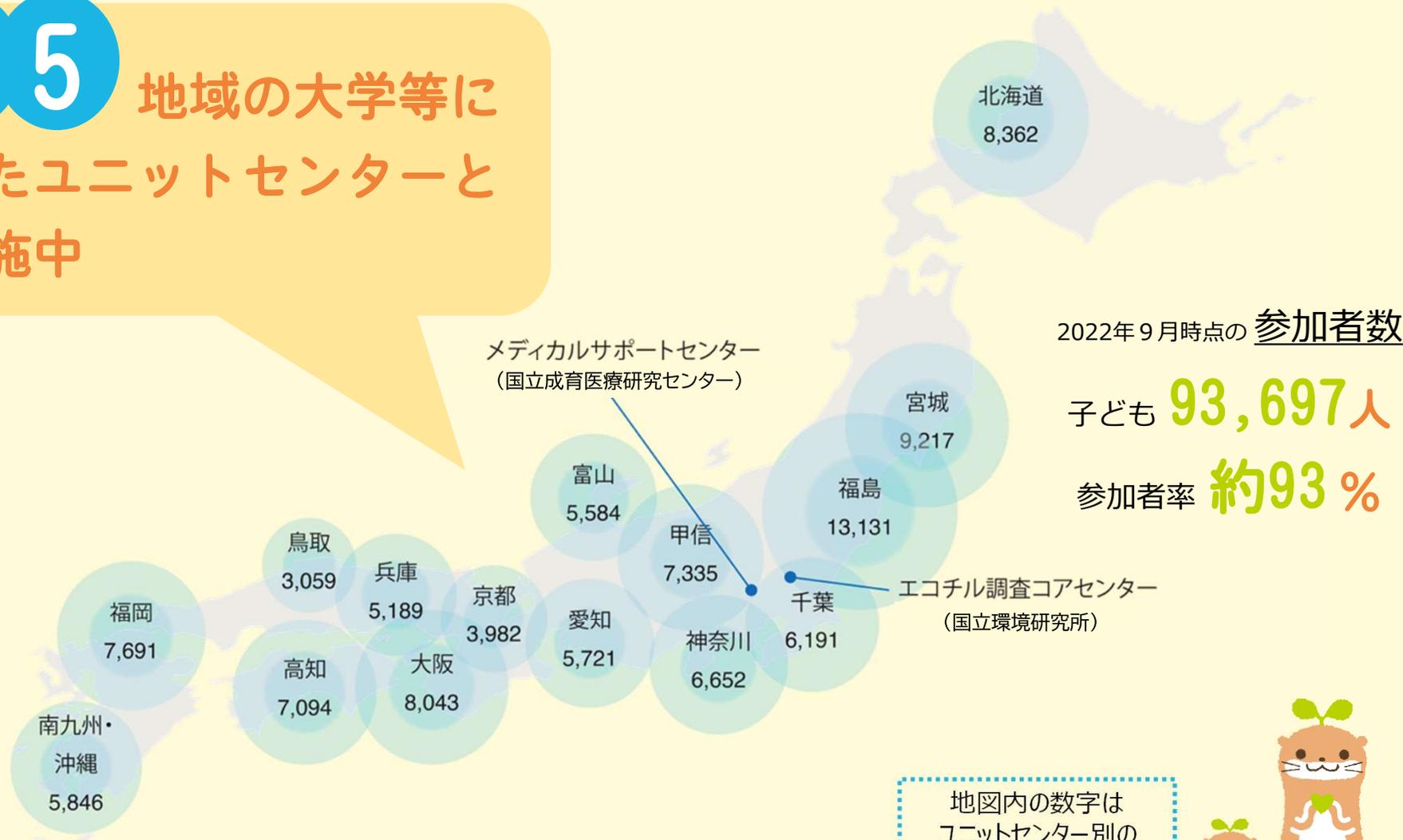
2011年から
実施

エコチル調査 = エコロジー + チルドレン 調査

- ▶ 環境中の化学物質等が、子どもの**健康**にどのように影響するのかを明らかにし、子どもたちが安心して健やかに育つ**環境**をつくるために実施
- ▶ 日本全国の**約10万組**の親子が参加
- ▶ 赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいるときから、**健康状態**や**成長**の様子を定期的に調査



全国 **15** 地域の大学等に
設置されたユニットセンターと
共同で実施中



2022年9月時点の参加者数

子ども **93,697人**

参加者率 **約93%**

開始時の参加者（同意者数）：妊婦 97,448人、父親49,564人
子どもの出生数：100,323人

地図内の数字は
ユニットセンター別の
参加者数
(妊婦のリクルート数)



参加している子どもたちは いま

全員 小学生



約 10万組の親子が調査の主役

全体調査
(約10万組)

質問票調査・ 子どもアンケート

みなさんの成長の様子や、普段の生活について教えてもらっています。



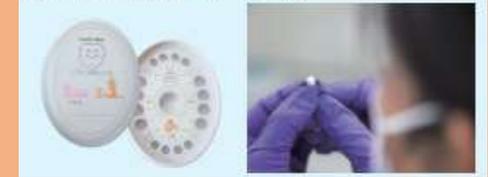
学童期検査

みなさんが小学2年生の時に、身体測定や発達検査に協力してもらいました。小学6年生の時にも行う予定です。



乳歯調査

抜けた乳歯を分析し、体の中に取り込まれた化学物質の情報を調べます。



詳細調査
(約5,000人)

医学的検査

健康状態を観察したり、身長や体重などを測定しています。生体試料(血液、尿 など)も提供してもらい、その中に含まれる化学物質などを分析しています。



精神神経発達検査

記憶する力や、情報を処理する力の発達などを調べます。



環境測定

みなさんのお家を訪問して、ハウスダスト(家の中のほこり)や空気中の化学物質、PM2.5(とても小さな粒状の物質)などを集めて分析しました。



遺

伝子の解析もすすめます

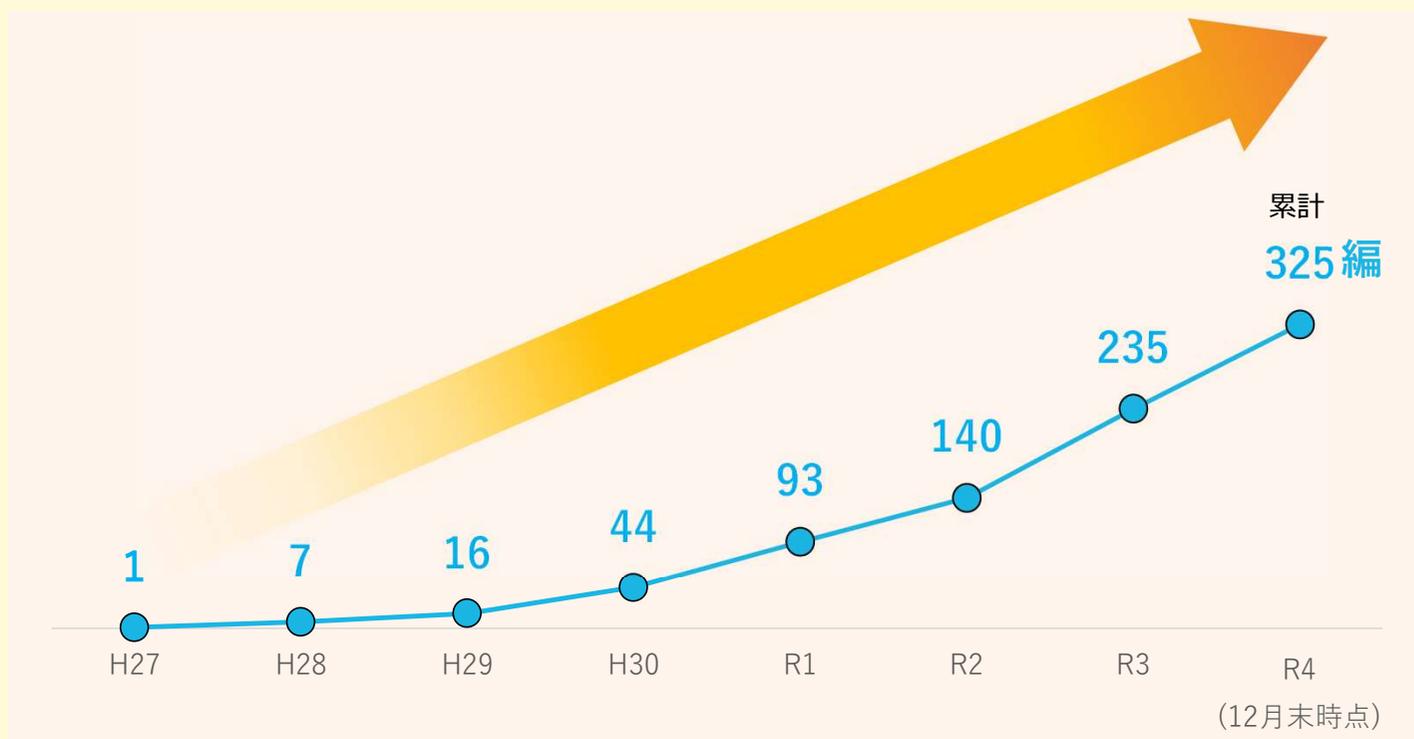


全国データを用いた論文 **325** 編



そのうち環境中の化学物質等と健康影響との関連についての論文 **39** 編

(2022年12月末時点)



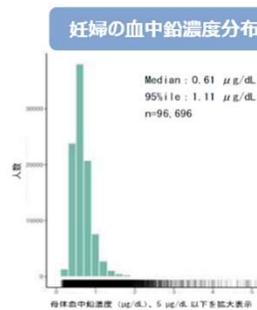
論文成果は環境省
ホームページに
掲載



成果の活用がはじまっている！

○「評価書 鉛（2021年6月 食品安全委員会）」

妊婦（約10万人）の血中鉛濃度のデータを引用



○「評価書 アレルゲンを含む食品 卵（2021年6月 食品安全委員会）」

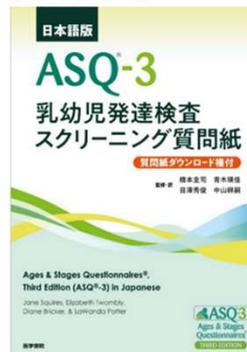
- 「食物アレルギーの診療の手引き2020」
- 「食物アレルギー診療ガイドライン2021」
- 「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021」

子ども（約9万人）の免疫アレルギーについて集計した論文を引用



○「乳幼児発達検査スクリーニング質問紙（日本語版ASQ-3）（2021年10月発刊）」

パイロット調査参加者（約400人）のデータを用いて基準値を設定

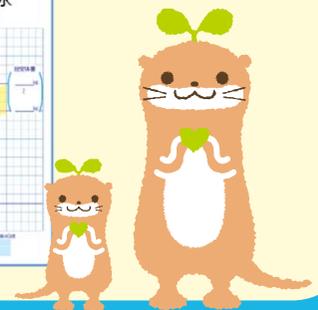
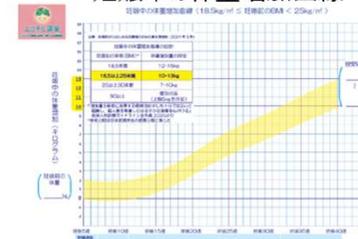


○「妊娠中の体重増加曲線（妊娠前BMI別）（2021年9月報道発表）」

妊婦（約10万人）の健診情報を用いて作成

妊娠前BMI別に4通り作成

(例) 妊娠前BMI18.5~25
妊娠中の体重増加曲線



これもみな 参加者のみなさん、
まわりの協力してくださっている
みなさんの おかげ



13歳以降の調査を準備中！



健康と環境に関する疫学調査検討会の提言*

13歳以降も調査を展開することが必要

13歳以降の調査の準備をすすめています

- 基本計画の改定
(「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)基本計画」)
- 研究計画書の改定 など

準備中



思 春期の心やからだって？



ライフコースアプローチ



13歳以降の調査に向けて準備中

